

一般質問 12人が市政を問う



2 番
中島ゆき子議員

平成29年3月から始まる介護保険制度の要支援1と2について

要支援1と2の人が受けるサービスについて、市の方針を説明してください。また支援の内容に違いはありますか。

◆福祉部長

デイサービスについては、総合事業に移行しても、現在利用されている要支援の方は引き続き利用できます。福祉用具などを利用される方は要支援認定が必要です。その他の方は、基本チェックリストにより、総合事業のサービスを受けることもできます。

◆下呂市認定こども園の運営について

①市が運営している認定こども園と保育園の、今後の運営方針を説明してください。

◆市長

下呂市子ども・子育て支援事業計画による体制整備の進捗状況を見ながら、下呂市全体の保育園運営をどのように進めていくか、実績あるNPO法人のご意見を聞きながら進めていきたい。

②指定管理で運営することも園で、大きな災害が発生したときにケガなどした人の補償はどうなりますか。

◆総務部長

市直営の施設であっても、指定管理施設であっても、それが自然災害に関わる場合は、基本的には補償の対象にならないのが原則的な考え方です。賠償は基本的には市が責任をもち、その後責任の程度に応じて求償を判断します。

◆コミュニティバス・デマンドバスの運行について

①バス利用者の利用目的と、時間帯別乗車人数を把握していますか。

◆経営管理部長

今年度は利用目的調査はしていませんが、毎年総合計画の市民アンケートの中でバスを利用している方に利用目的を聞いています。また時間帯別乗車人数は把握しています。

②現在の運行路線・時刻などについて、市民から何か要望はありますか。

◆経営管理部長

一部地域において、運行時刻の改正や増便等の要望は受けています。平成29年度には国の補助を活用し、下呂市全体の公共交通網を見直す、「地域公共交通網形成計画」の策定を予定しています。



11 番
吾郷孝枝議員
(日本共産党)

高齢者にやさしい街づくりのための具体的施策について

①聴力検査を住民検診でできないか。

◆健康医療部長

健康診査は生活習慣病の改善を目的としており、難聴は生活習慣病には分類されておりません。

②磁気ループ導入で補聴器使用者の参画促進を。

◆福祉部長

現状では整備されておらず、手話通訳、要約筆記などで対応しています。

③福祉タクシーまめなカーの対象者拡大で交通弱者支援を。

◆福祉部長

公共交通の役割分担を考慮するとともに、福祉有償運送、福祉バスポートなどの利用や、民間事業への影響も含め対象者を限定しています。

④移動販売車補助で地域の小規模商店と買い物困難者の支援を。

◆観光商工部長

商工会で扱っている国の小規模事業者持続化補助金があります。

商工会と連携して積極的に後押ししていきます。

⑤在宅介護で常時紙オムツが必要な人に、「ゴミ袋を支給できないか。」

◆福祉部長

市指定ゴミ袋は市の焼却施設へゴミを出すためのもので、介護用品としては対象外としています。

◆国保の県単位化を前に市独自の負担軽減の実施を

①国保税の更なる引き下げのため、基金と繰越金で7億円となるためこみ金を被保険者に還元すべきでは。

◆市民部長

現状からは、国保税を引き上げなければならぬ状況ではないと考えています。

②子育て支援で子どもの均等割り負担を無くすように。

◆市長

新年度より国保基金を活用し、18歳未満が3人以上の世帯について、3人目以降の均等割額を減免するよう進めています。

③固定資産割りは過重です。見直しが必要では。

◆市民部長

介護納付分について資産割を外した、一部3方式での賦課を導入したいと考えています。



9 番
伊藤 厳 悟 議員

保育園のあり方について

①10年経過した民営化保育園の今後について。

◆市長
NPOの皆さまの10年間の実績の中で培われてきた、運営力を生かしていただきながら、引き続き指定管理者としてお願いしたいと考えています。

②1つの保育園を卒園後、4つの小学校へという金山の現実を考えたとき、教育の一環の中で金山の小学校を統合すべきでは。

◆教育長
現在そのような動きが保育園の保護者の方を中心にあるということとは聞いています。正式に私どもが聞くところまではいっていませんが、地域の方、保護者の方の思いを受けながら進めていきます。

給食センターの建設計画について

①進捗状況について。

◆教育部長
下呂市南部学校給食センターは平成29年3月から工事に着手し、平成30年2月の完成を見込んでいます。供用開始は平成30年4月か

らを予定しています。

北部学校給食センターは、今年度建設予定地萩原町跡津地内の用地取得、基本設計業務などを行っています。平成29年度には実施設計業務など一部造成工事を計画、平成30年度に本体工事に着手し、平成31年8月の夏休み明けからの稼働を予定しています。

健康保養地について

①市としての活用方針と責任について。

◆市長
・具体的な活用方針は。

先日記事に「森林を活用した健康づくり」推進事業の充実拡大や、新たな取り組みによる活性化を進めていただきたいとして、要望書を提出しました。市としても協力できるところは協力していくというスタンスを持ちながら、今後も引き続き強く求めていきたいと考えています。

薬草園の整備管理について。

◆市長

薬草園の整備については飛騨市、揖斐川町と連携をとりながら協議会を立ち上げ、県と協議をしていきます。

②県との連携について。

◆副市長

飛騨県事務所、下呂農林事務所と行政連携会議を開き、それぞれの立場の中で回を重ねながらあり方について検討します。



5 番
今井 政 嘉 議員

豊かな森林を生かした事業創出について

①木材価格の低迷により大変な時代。と言われ続けている。また境界を知る人も高齢となっている現状を行政としてどう見ているのか。

◆農林部長

広大な面積を、有効な方法を確立しながら進めるべきで、下呂市内の地域を一元的に管理し、林業の推進役となる団体と連携し、方策を検討します。

②市有林の整備を積極的に行い、市も一所有者としてモデルを示すべきだ。

◆農林部長

偏った樹齢構成を平準化させるため、皆伐、再造林が必要ですが、課題である低コスト化と獣害対策を検討し、来年度からモデル林を作りあげていきたいと考えています。

移住・定住・女性が活躍できるまちづくりへ

①地域おこし協力隊や新規就農者などの制度を、下呂市は十分に活用しているのか。

◆経営管理部長

制度があるからといたずらに導入するのではなく、先行導入地域の成果や問題点なども踏まえ、地域が本場に導入を必要としているか十分に検証を重ね、その上で、市として対応をしていきたいと思っています。

②女性の働き方改革に大いに期待している。計画はどのようなものか。

◆経営管理部長

短期的な取り組みは、「ふるさと納税事務」を活用した女性が就業できる新しい仕事の創出を図ります。中長期計画は「ふるさと納税で得た資金」を活用し、新たに女性の雇用の環境改善に取り組みます。

福祉政策の強化について基本的な考え方を

①誰もが支え合える地域を目指すべきだがその基本的な考え方は。

◆福祉部長

地域住民が、主体的にふれあい、助けあい・支えあい活動を進め、地域づくりと地域福祉の充実を図ることが、まず重要と考えます。

②障がい者が働く環境の整備を、どの様に考えているのか。

◆観光商工部長

障がい者雇用支援と企業支援を目的に、市内の事業所を対象とした下呂特別支援学校の見学会を開催しています。



13 番
中島達也 議員

平成29年度の市政運営について

今年度の予算は前市長の骨格予算でしたが、新年度は市長自らの思い、政策を反映させる本格的予算です。新年度政策の骨子・全般について伺います。

①地方創生下呂市版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の現状と新年度の取り組みは。

②第二次総合計画に基づく新年度の具体的な取り組みは。

◆市長

下呂市の最上位の計画である「下呂市第二次総合計画」では、3つの重点プロジェクトと7つの基本目標がありますが、その中で特に「人口減少対策」と「地域づくりのしくみ」の2つの重点プロジェクトを取り出し、積極的に推進することとして「下呂市版総合戦略」を策定しています。

現在、この総合戦略の大きな事業として、下呂市全域を対象とした「①DMO機能の構築事業」、子供さんをお持ちの若い女性をターゲットとした「②女性の働き方改革推進事業」、地域づくりに向けた

「ふるさと磨きミーティング」の3つを進めています。

来年度に向け3つの事業を柱に、関連する事業とともに、積極的かつ確実に押し進めてまいります。

これにより、私の掲げた「若い人や女性が輝き、高齢者の笑顔あふれるまち」、「地域間の融和と伝統あるまち」、「交流から生まれる活気あるまち」、「防災力で安心して住めるまち」の4本の基本政策と、目指すものとして「高齢者と子育て世代に向けた福祉政策の強化」、「年間宿泊客数130万人達成」、「若者のために新たな仕事の創出」、「下呂の宝である農林業の改善、発展」、「インフラ整備の加速化」、「対話と融和のまちづくり」の6項目が着実に進められるものであります。



ふるさと磨きミーティング



3 番
田中副武 議員
(公明党)

認知症について

①平成30年から実施される認知症初期集中支援チームの状況について伺います。

◆福祉部長

下呂市では平成29年3月から認知症初期集中支援チームを配置するよう準備を進めています。

②認知症サポーター「キャラバン・メイト」の育成状況について伺います。

◆福祉部長

キャラバンメイトは11月末現在で39人です。引き続き「養成研修」や、自主的な活動ができるよう環境づくりに努めます。

③認知症高齢者の交通事故について、市の考えを伺います。

◆福祉部長

認知症高齢者の事故防止につながる一助として、認知症初期集中支援チームを前倒しで設置することで、認知症の早期発見・早期治療につなげていきたいと考えています。高齢者の方の交通手段として、バス・タクシーを活用した免許返納後の高齢者の交通手段の確

保を図っていく必要もあります。

防災について

①災害発生後、道路や橋梁などのインフラ復旧が求められています。市の対策について伺います。

◆総務部長

災害時応援協定締結団体である下呂市建設業協会に協力依頼し、活動していただきます。

濁河温泉高原スポーツレクリエーションセンターについて
指定期間が満了し県へ返還することとなった施設について、今後の市の関わりについて伺います。

◆市長
これまで積み重ねられた様々な運営ノウハウがしっかりと引き継がれ、更に利用者の利便性や満足度が向上するよう、下呂市として岐阜県に意見など申し入れを行ってまいります。

◆EPM（エム）
小坂地域では生産組合も設立され栽培が広まっています。市の特産品となるようEPMを市として推進してはいかがでしょうか。

◆小坂振興事務所長
小坂地域では、平成30年を目処に品種登録を行い、種子の供給体制を確立し、普及させる計画です。下呂市として、取り組みを応援していくとともに、さまざまなイベントでPR活動を行ってまいります。